

第 7 章 教 育

第1節 教育委員会

1 教育委員会

委員会は、定例会を12回、臨時会を2回招集し、議案件数は24件であった。

2 教育大綱・教育基本構想

令和2年12月に現在の「沼津市教育大綱」を策定し、誇り高い沼津を創造する「貴き志を持つ人」の育成を進めている。

大綱策定を受け、本市の教育の方向性を明確にし、教育施策を総合的に進めていくための指針となる「沼津市教育基本構想」を令和3年3月に策定し、「人間力を磨く教育」と「地域総がかりで取り組む教育」を一体的に推進している。

また、構想に示した理念や方向性の具現化を図るため、構想と併せて策定した「沼津市教育基本構想実施計画」に基づき、各事業を展開している。

3 総合教育会議

総合教育会議は、平成27年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により設置され、市長と教育委員会で構成し、教育大綱の策定や「教育を行うための諸条件の整備その他地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策」等について協議・調整を行う。

本年度は、「リアルとデジタルを組み合わせた学習機会の確保や居場所づくり」と「沼津市教育大綱」をテーマとした会議を、11月に1回開催した。

4 学校規模・学校配置適正化推進事業

教育の環境や質の更なる充実を図るため、「沼津市立小・中学校の適正規模・適正配置の基本方針」を平成29年度に策定し、その後、令和2年12月に改正して取り組みを進めている。

本年度は、第二及び浮島の各中学校区において、有識者、保護者、地域自治会、学校の代表者で構成する「学校の未来を考える会」をそれぞれ開催し、地域住民説明会や保護者の意識調査を経て、適正化方針を決定した。

また、大平中学校区においても「学校の未来を考える会」を開催し、望ましい教育環境の在り方について意見交換を行った。

5 中学校部活動改革推進事業

令和4年12月にスポーツ庁及び文化庁が「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を公表し、中学校部活動を地域移行する方向性が示されたことを受け、本市においても具体的な対応を進めている。

本年度は、「沼津市部活動地域移行取組方針」を策定したほか、関係者等で構成する「沼津市部活動改革検討協議会」を3回開催した。また、部活動コーディネーターを4人配置し、学校やスポーツ・文化団体との調整を進め、7事例の実証事業を実施した。

第2節 学校の運営・管理

5月1日現在における市立の学校・幼稚園数、学級数、教職員数（兼務者除く）、児童・生徒・園児数（認定こども園は除く）は次のとおりであった。

区 分	学校・幼稚園数	学 級 数	教 職 員 数	児童・生徒・園児数
小 学 校	23 ^校	306 ^{学級}	621 ^人	7,195 ^人
中 学 校	18	156	417	4,034
高 等 学 校	1	15	61	601
幼 稚 園	1 ^園	3	6	13

1 小 学 校

第四小学校校舎整備工事、開北小学校理科室等空調設備整備工事のほか、各小学校の営繕工事等を実施した。また、要保護及び準要保護家庭の児童の保護者に対して就学援助費を支給し、特別支援学級児童の保護者に対して特別支援教育就学奨励費を支給した。

(1) 経常費の状況

年 度	学 級 数	児 童 数	決 算 額	1学級当たりの金	1人当たりの金額
6	306 ^{学級}	7,195 ^人	2,077,771 ^{千円}	6,790,102 ^円	288,780 ^円
5	311	7,372	1,814,915	5,835,738	246,190

(2) 経常費の児童1人当たりの状況

(単位 円)

年 度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
6	59,169	183,296	34,915	11,400	288,780
5	45,015	170,091	20,535	10,549	246,190

(3) 要保護及び準要保護児童の就学援助費

区 分	児 童 数	金 額
学用品購入費・校外活動費等	1,017 ^人	12,562,360 ^円
修 学 旅 行 費	178	4,807,333
通 学 費		
新 入 学 児 童 学 用 品 費 等	169	5,625,146
学 校 給 食 費	852	40,252,986
医 療 費		
6 年 度	2,216	63,247,825
5 年 度	2,059	59,600,537

※新入学児童学用品費等は令和7年度入学者分を含む

(4) 特別支援学級児童の特別支援教育就学奨励費

区 分	児 童 数	金 額
学用品購入費・校外活動費等	109 人	481,516 円
修 学 旅 行 費	20	215,800
通 学 費	25	381,620
新 入 学 児 童 学 用 品 費 等	10	215,523
学 校 給 食 費	92	2,149,240
6 年 度	256	3,443,699
5 年 度	238	3,423,707

2 中 学 校

大岡中学校校舎整備工事、第三中学校校舎整備工事、第五中学校理科室等空調設備整備工事のほか、各中学校の営繕工事等を実施した。また、要保護及び準要保護家庭の生徒の保護者に対して就学援助費を支給し、特別支援学級生徒の保護者に対して特別支援教育就学奨励費を支給した。

(1) 経常費の状況

年 度	学 級 数	生 徒 数	決 算 額	1 学級当たりの金 額	1 人当たりの金額
6	156 学級	4,034 人	1,185,477 千円	7,599,209 円	293,871 円
5	164	4,276	1,143,614	6,973,255	267,449

(2) 経常費の生徒 1 人当たりの状況

(単位 円)

年 度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
6	53,543	181,273	41,010	18,045	293,871
5	43,369	168,526	37,329	18,225	267,449

(3) 要保護及び準要保護生徒の就学援助費

区 分	生 徒 数	金 額
学用品購入費・校外活動費等	699 人	13,504,834 円
修 学 旅 行 費	173	10,076,009
通 学 費		
新 入 学 生 徒 学 用 品 費 等	187	11,781,000
学 校 給 食 費	504	27,021,612
医 療 費		
6 年 度	1,563	62,383,455
5 年 度	1,883	67,534,666

※新入学生徒学用品費等は令和7年度入学者分を含む

(4) 特別支援学級生徒の特別支援教育就学奨励費

区 分	生 徒 数	金 額
学用品購入費・校外活動費等	43 人	265,059 円
修 学 旅 行 費	15	431,575
通 学 費	10	226,140
新 入 学 生 徒 学 用 品 費 等	10	297,320
学 校 給 食 費	34	927,418
6 年 度	112	2,147,512
5 年 度	134	2,227,320

3 高 等 学 校

中高一貫教育の利点を活かし、6年間を通した教育の充実に努めた。施設面では普通教室棟外壁改修工事等を実施し生徒等の安全な学習環境を確保した。設備面ではICT教育をさらに推進するため、情報端末の更新をするとともに、パソコン室をプレゼンテーションルームに改修し、教育環境の充実に図った。

(1) 経常費の状況

年 度	学 級 数	生 徒 数	決 算 額	1 学級当たりの 金 額	1 人当たりの金額
6	15 ^{学級}	601 ^人	596,668 ^{千円}	39,777,867 ^円	992,792 ^円
5	15	600	637,787	42,519,133	1,062,978

(2) 経常費の生徒 1 人当たりの状況

(単位 円)

年 度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
6	804,685	138,718	47,599	1,790	992,792
5	788,365	116,747	156,680	1,186	1,062,978

4 幼 稚 園

心豊かで思いやりのある園児の育成に努めた。

(1) 経常費の状況

年 度	学 級 数	園 児 数	決 算 額	1 学級当たりの 金 額	1 人当たりの金額
6	3 ^{学級}	13 ^人	54,637 ^{千円}	18,212,224 ^円	4,202,821 ^円
5	3	16	48,308	16,102,637	3,019,244

(2) 経常費の園児 1 人当たりの状況

(単位 円)

年 度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
6	3,721,258	410,063	70,781	719	4,202,821
5	2,630,304	349,491	38,844	605	3,019,244

第3節 学 校 教 育

1 「チーム学校」実現事業

各学校が、地域性や学校の独自性を生かした特色ある教育活動を通して中期計画を達成するために、児童生徒支援員や図書館支援員など必要な支援員を配置するとともに、各学校が行う地域交流の推進と外部人材の活用を図る事業を支援することを目的に、小学校23校、中学校18校の各学校で行われた事業に対し交付金を交付した。

また、全中学校区をコミュニティ・スクール地区とし、地域総がかりでの学校運営に取り組んだ。

2 言語教育による表現力・読解力育成事業

国の承認を受けた、「読解の時間」と「英語の時間」からなる特別な教育課程「言語科」の授業を中心に、言葉を用いて人と積極的に関わる態度や論理的な思考力、表現力が高まる言語教育の推進及び読書活動の充実による読書力、読解力の向上を図った。

また、子どもたちが英語や異文化に親しみながら、英語によるコミュニケーションへの自信や興味、関心、意欲を高めていくことを目的として、小・中学校（中等部を除く）にALT（外国語指導助手）を配置したほか、中学校全学年を対象に生徒とALTが1対1で、1人1台端末を経由したリスニング・スピーキングを行う、市独自のパフォーマンステストを実施した。

3 中高一貫教育

沼津市立沼津高等学校・中等部は、中高一貫教育校として6年間の計画的、継続的な教育を通し、生徒個々の自己実現を図ることを目標に、生徒の学力向上や個性を伸ばす教育を活発に展開した。

また、本市唯一の市立高等学校、中高一貫校として、市全域をコミュニティとしてとらえ、学校運営の改善や地域と連携した教育活動（キャリア教育や探究学習）を推進していくため、学校運営協議会を3回開催した。

4 情 報 教 育

小・中学校の情報機器の更新等を行うとともに、国が進めるGIGAスクール構想実現に必要な教職員のICTスキル向上のため、情報教育コーディネーターが1人1台端末や大型提示

装置などのＩＣＴ機器を活用した授業づくりを支援する学校訪問を行った。

そのほか、沼津市立小中高等学校ネットワーク協議会によるＩＣＴ機器の活用とデジタル教材活用のための研究を行うなど、ＩＣＴの活用を通じた教育の質の向上に取り組んだ。

5 教職員の人事管理・研修

(1) 人 事

学校や地域の実態及び教育課題に基づいた学校づくりや、信頼に応える教育の実現を目指す組織づくりのため、年度末に236人（小学校142人、中学校94人）の人事異動の内申を行った。

(2) 健 康 管 理

教職員の疾病の早期発見・予防指導のために、定期健康診断、指定年齢健診などを行うとともに、心の健康増進を図るため、小・中学校の教職員を対象に「ストレスチェック」を実施した。

また、高ストレス者には専門医との面談を行う体制を整えることで、教職員の疾病予防に努めた。

(3) 研 修

教職員研修センターが進める研修会及び個別訪問支援により、小・中学校に勤務する教職員の資質向上を図った。

(4) 教科指導研究

小・中学校の教職員から選任した教科等ごとのチームで教科指導研究を推進し、年度末に研究の成果を教職員ポータル上に公開し、職員間で情報共有を図った。

各教科等の指導法や授業づくりの在り方等について研究・提案をし、9年間の系統性を踏まえた教科等指導力の向上を図った。

6 児童生徒の教育・健康管理

児童生徒の創意工夫、想像力の育成を図るため、小・中学校美術展を学校ごと開催した。

児童生徒をとりまく環境の変化に対応するため、教育委員会が作成した性に関する指導の手引「こころとからだの教育ガイダンス～よりよい生き方・豊かな人間関係を目指して～」をもとに、各学校で性教育を行った。

児童生徒の体力づくりを進めるため、新体力テスト（4月～10月）、中学校体育大会（6月～7月）など各種の体育行事を実施した。

健康管理については、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱し、児童生徒の疾病の予防指導、治療の奨励を行うとともに、結核検診、尿検査、心臓疾患の検査を実施した。

7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置

児童生徒が心の悩みや不安、ストレスなどを和らげ、心にゆとりをもって安心して学校生活を送れるようにするために、全小・中学校にスクールカウンセラーを配置した。

また、学校生活や生活環境等に悩みを抱える児童生徒及び保護者を支援するため、スクールソーシャルワーカー4人を配置した。

8 学 校 給 食

学校給食を学校教育の一環としてとらえ、児童生徒の健康増進と望ましい食習慣の形成に努めた。

学校給食費の徴収・管理や地場産物の活用を含めた給食食材の調達を行うほか、学校給食衛生管理基準に基づく検査、関係職員の資質向上に向けた研修会を実施するなど、安全安心な学校給食の運営に取り組んだ。

また、物価高騰対策として、給食費の一部を公費負担とし、保護者負担の軽減を図った。

9 特別支援教育

心身に障がいのある幼児児童生徒に対し、就学支援委員会の適正な就学支援を実施し、知的障害学級、自閉症・情緒障害学級、通級指導教室において、障がいの種類、程度により個に応じたきめ細かな指導を行うとともに、医療的ケアが必要な児童等の学校生活を支援した。

また、臨床心理士等を含む専門家チームが小・中学校を巡回し、教職員や保護者の相談に応じるなどして、支援の充実を図った。

10 幼 児 教 育

市内の幼稚園・保育園・認定こども園の連携を高め、相互理解の促進、連携の充実を図るとともに、教育・保育の質や幼稚園教諭・保育士の資質の向上を目的として、「沼津市幼児教育研究協議会」の活動を支援した。

また、「一定の所得未満の世帯」及び「第3子以降の世帯」の3歳から5歳児までの子どもの副食費について、本市独自の軽減施策として、国の基準を上回る補助等を実施した。

このほか、私立幼稚園の教職員の資質向上を図るため、3園に補助し、幼児教育の振興支援

を行った。

11 育英奨学金

沼津市育英条例に基づき、奨学生選考委員会を開催し、新たに大学生10人及び高校等入学予定者17人を選考した。その結果、1人月額1万円の奨学金を34人の大学生に交付するとともに、入学時の一時金として7万円を高校等入学予定者に交付し、勉学の奨励に努めた。

12 児童生徒の安全指導

小・中学校では、学級活動などの時間を利用して、通学路の確認や自転車の乗り方などの交通マナー教育を行い、安全指導の徹底を図った。

また、地域や関係機関との連携を図り、児童生徒の安全確保に努めた。

沼津市子供の移動経路安全推進連絡協議会において、安全対策を専門とする有識者から助言を得ながら、関係機関と連携して通学路の安全対策を講じた。

13 小中一貫教育

全小・中学校（中等部を除く）を「併設型小学校・中学校」とし、既存の小学校及び中学校の基本的な枠組みは残したまま「義務教育9年間で子どもを育てる」ことに重点を置く小中一貫教育を推進した。義務教育9年間の系統性を確保した教育課程の編成・実施や、小中合同の会議・研修、中学校区単位での地域連携、小中乗り入れ授業等の教育活動に取り組んだ。

第4節 社 会 教 育

1 社会教育委員会

教育委員会の委嘱により、社会教育に関する調査・研究・検討や諮問に対する答申、意見具申などを行う、10人の委員からなる諮問機関であり、令和5年7月に教育委員会から諮問された「親の学びを支える持続可能な取組について」への答申に向けて調査や検討を重ねるとともに、各種研修会にも参加した。

2 生涯学習

市民の学習に対する意欲を支え、学習の場を提供するとともに、生涯学習を基幹とした社会教育活動を推進した。

(1) 生涯学習の推進

生涯学習についての各種情報を提供するとともに、イベントの開催等を通じて普及啓発に努めた。

ア 学習情報の提供

さまざまな学習情報を広く市民に提供するため、生涯学習情報誌として「沼津まなぶくん」を年1回1,400部、「さんさんだより」を偶数月400部発行し、市内各連合自治会、地区センター等に配布した。

イ 生涯学習推進イベントの開催

市民の生涯学習活動の成果を発表する場を提供するとともに、生涯学習の啓発と普及を図るため、「第33回さんさん学習フェスティバル」を開催した。

参加団体 51団体・個人 来場者数 1,665人

(2) 地域における生涯学習の推進

コミュニティ単位に設置している「生涯学習地域推進員」と連携を図りながら、地域における学習活動を推進した。

ア 地域学習講師の派遣

各地域の団体やグループの学習活動を支援するため、その学習に合った講師や指導者を派遣し、地域学習を支援した（派遣回数8回）。

イ 出前講座

市民の学習ニーズに応えるため、市職員を講師として派遣する出前講座を開催し、学習

機会の拡大を図った。

講座数	73講座	開催数	70回
		受講者数	4,168人

ウ まちの識者

特技や知識を持っている方々を「まちの識者（地域学習指導者）」として人材登録し、市民からの学習指導者紹介の要請に応じた。

登録者	延べ105人	紹介件数	31件
		受講者数	1,386人

エ イングリッシュデビュー事業

英語の習得には乳幼児期から英語に慣れ親しむことが重要であることから、英語に触れるきっかけづくりとして、0～3歳児とその保護者を対象とした英語教室を開催した。

また、4歳児から小学校低学年児童とその保護者を対象に、親子で英語を使ってコミュニケーションを図るプログラムを実施した。

開催数	22回	受講者数	延べ391人（171組）
-----	-----	------	--------------

オ 地域学校協働本部

コミュニティ・スクールとの連携を図り、地域総がかりで子どもたちの学びや成長を支える協働活動を推進した。

3 成人教育

(1) 市民大学

「豊かな未来をひらく」をメインテーマとして、価値観が多様化する現代社会の中で、市民の生涯学習活動を支援することを目的として、講師を招き、広い視野と新たな視点を提供した。

	日 程	テ ー マ ・ 講 師	出席者数 (人)
1	7.6	気候変動に伴う自然災害の変化と社会の対応 関西大学特別任命教授・社会安全研究センター長 河田 恵昭	148
2	7.21	戦場からのメッセージをあなたに ～ファインダー越しに見た命の現場～ 戦場カメラマン 渡部 陽一	233
3	8.11	落語コミュニケーション論 落語家 立川流真打 立川 談慶	123
4	9.6	墓と古墳の考古学 ～古代東アジア人の死後の世界～ 日本大学文理学部 教授 山本 孝文	108
5	9.21	「ウェルビーイング」 ～これからの時代の幸せな生き方について～ EVOL株式会社 代表取締役CEO 前野マドカ	125
6	10.11	人生を豊かに生きる音楽療法 ～病める時も健やかなる時も～ 静岡英和学院大学 教授 山田美代子	94
7	10.26	楽しい子育て ～こどもとの接し方を学ぼう！～ 現役保育士・育児アドバイザー てい先生	341
8	11.16	食品と薬 ～正しい摂り方・飲み合わせ～ 静岡県立大学薬学部 教授 吉成 浩一	121
9	11.30	万物は渋滞する ～シゴトの渋滞解消の法則～ 東京大学 大学院工学系研究科 教授 西成 活裕	121
			延べ 1,414

(2) 高齢者教育

生涯学習の一環として、高齢者が心豊かに明るく健康な生活を送るとともに、仲間と語り合い、生きがいを求める場として、65歳以上の市民を対象とした高齢者学級を開設した。

開設学級 万年青大学5学級

寿大学16学級（愛鷹、原、浮島、日枝、大岡、内浦、橘西浦、香南、我入道、
第三中、大平、金岡、片浜東部、片浜西部、今沢、門池）

期 間 4月～令和7年3月

学級生数 838人 学習回数 各大学とも月1回（8月を除く）

また、学習のほかクラブ活動として、体力づくり、ダンス、詩吟、コーラス、俳句などを大学ごとに自主的に行った。

(3) 家庭教育

ア 家庭教育講座

幼児期から思春期までの子どもの心身の発達や親の望ましいあり方等について学ぶ自信がもてる子育て講座等を開催した。

開催数 9回 受講者数 延べ329人

イ 家庭教育講座支援事業

すべての教育の原点である家庭教育力向上を目的として開催される、家庭教育に関する学習会へ講師を派遣した。

派遣回数 10回

4 青少年対策

(1) 青少年問題協議会

青少年対策にかかわりのある機関・団体及び行政の代表13人で構成されている青少年問題協議会を年2回開催し、青少年の社会参画について意見交換を行った。

(2) 青少年を健やかに育てる会

青少年健全育成を主眼に、地域組織として18地区に設置されている「青少年を健やかに育てる会」は、育成部・補導部により積極的な地域ぐるみの活動を行い、青少年の健全育成と非行・被害防止に努めた。

(3) 青少年健全育成啓発事業

市民が青少年問題に対する関心を深め、青少年の健全育成を推進するために、「青少年を健やかに育てる会」及びその他の関係機関と緊密な連携を保ちながら青少年健全育成啓発事業を行った。

11月の「子供・若者育成支援推進強調月間」には、沼津駅周辺での街頭キャンペーンを実施し、さらに広報活動を通して青少年健全育成の啓発に努めた。

また、児童生徒が通学路や遊び場等で危険に遭遇した時、すぐに助けを求められる場所として「こどもかけこみ110番の家」（令和7年3月31日現在2,166か所）を設置した。

(4) 青少年育成推進員制度

各地区の「青少年を健やかに育てる会」から推薦された321人で構成され、「青少年を健やかに育てる会」の中核的な推進役として、地域の青少年の育成や地区行事等で活動した。

(5) 青年教育推進事業

青年が個人の教養や技術を身につけるとともに、地域での社会貢献の意識を高めることを

目的として、教養講座や交流活動を実施した。

(6) 二十歳の集い

市内17会場で地域における手づくりの式典を開催した。

また、責任ある大人としての自覚と市政への関心を喚起するため、二十歳の議会を開催した。19人の若者が、市政についての質問や、「わたしにとっての沼津の宝」をテーマに一言発言を行った。

(7) わたしの主張大会

市内の中学生が家庭、学校、郷土（地域）、友人、将来のこと、あるいは、自分の体験や日頃考えていることを発表する場として第43回大会を開催し、市内19中学校から校内審査により選ばれた19人が発表した。

(8) 高校生しゃべり場 in んまづ

各高校の代表生徒に日頃感じていることや意見を自由に発言する場を提供することで、高校生の社会参加のきっかけを作るとともに、生徒自身の社会に対する意識の高揚を図り青少年の健全育成を促すことを目的として、ディスカッション方式で開催した。第12回となる本年度は、12人の高校生が、「この声、どう届ける？ ～子ども・若者が主役のまちへ～」をテーマに活発な意見交換を行った。

(9) 青少年体験学習推進事業

幅広い分野での体験の機会を設け、参加者の自ら学び考える力や様々な物、事への興味・関心・意欲の向上を図ることを目的に、学校や家庭ではできない体験活動を実施した。

開催数 3回 参加者数 67人

(10) 青年団体の育成及び青少年育成団体との連携

沼津市子ども会育成連絡協議会等と常に緊密な連携を保ちながら青少年の健全育成を図った。

(11) 子どもの居場所づくり推進事業

行政、学校、放課後児童クラブ、児童福祉、社会教育の関係者や地域住民の代表などの委員で構成される「放課後子ども対策運営委員会」を設置し、「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との関連や活動場所、人材確保など本市における「放課後児童対策パッケージ」等について協議をし、「放課後子ども教室」を市内5か所の小学校にて実施した。

5 青少年教育センター

(1) 補 導

ア 中 央 補 導

繁華街での補導を強化するため、地区補導委員代表者及び警察署等と連携を保ちながら計画的な街頭補導を実施した。

イ 地 区 補 導

市内全域の補導強化を図るため、18地区の「青少年を健やかに育てる会」から推薦された少年補導委員により、それぞれの地区の実情に合った補導を実施した。

街頭補導実施状況

実施回数	補導委員従事延べ人数	声かけ、注意、指導 した少年	事後指導（家庭・学校・ 他機関への連絡）
回 508	人 2,741	人 2,402	人

街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区補導）

（単位 人）

学 職 別		小 学 生	中 学 生	高 校 生	そ の 他 学 生	有 職 少 年	無 職 少 年	計
区 分								
行 為 種 別	飲 酒							0
	喫 煙							0
	薬 物 乱 用							0
	夜 間 は い か い			3				3
	不 良 交 友							0
	怠 学 ・ 怠 業							0
	ゲームセンター入場	52	81	407		2		542
	パチンコ店入場							0
	カラオケ店入場							0
	自転車の暴走行為							0
	自転車の二人乗り							0
	自転車の無灯火		1	17		3		21
	危 険 な 遊 び							0
	そ の 他	2		15				17
計		54	82	442	0	5	0	583
事後指導	家庭・学校・職場へ連絡							0
	他 機 関 へ 連 絡							0
	計	0	0	0	0	0	0	0
愛 の 声 か け 運 動		615	514	672	6	12		1,819

※少年は20歳未満の者

(2) 環境浄化活動

有害図書の販売場所、ゲームセンター、カラオケ店及び公園・空き地等、青少年のたまり場や遊び場を見回することで、良好な環境の整備に努めた。

(3) 広報活動

非行・被害防止及び健全育成の啓発を図るため、青少年教育センターの機関紙「たより」の発行、関係機関や団体との情報交換を行った。

(4) 教育相談

面接相談と電話相談の各利点を生かして、児童生徒及び保護者の相談に応じた。教育相談の実績は、面接相談143件（延べ1,698回）、電話相談1,219件であった。

ア 相談指導学級

不登校の児童生徒の学校復帰や社会的自立を図るため、通級による指導を行った。

イ 面接相談

非行、不登校、発達・子育て、進路・適性、対人関係等の課題について、職員や臨床心理士、言語聴覚士により面接相談を通じて相談者自身による課題解決を支援した。また、本人や保護者との面接のほか、必要に応じて学校等への訪問を実施した。

相談内容・対象者別内訳

(単位 件)

対象者	内容	非 行	不 登 校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	そ の 他	計
幼 児								0
	新 規							0
小 学 生			32	25		1	5	63
	新 規		15	20		1	3	39
中 学 生			52	11	1	2	3	69
	新 規		36	8	1		2	47
高 校 生			7	1			3	11
	新 規		2				2	4
そ の 他								0
	新 規							0
本 年 度		0	91	37	1	3	11	143
	新 規	0	53	28	1	1	7	90

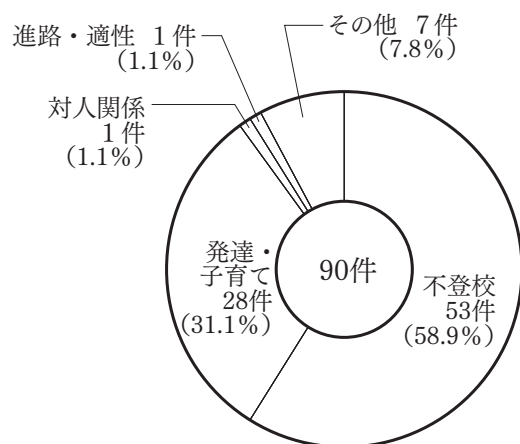
※対象者のその他……大学（短大）生・専門学校生・有職少年・無職少年など

※上段は相談件数

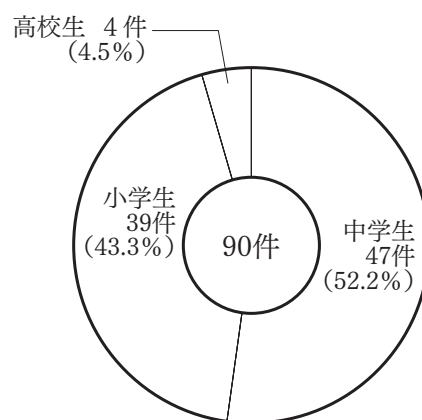
※下段は新規相談で上段の内数

[新規相談受理状況]

内容別相談件数



対象者別相談件数



ウ 相談指導学級における教育相談教員研修

学校における複雑多様化した児童生徒の行動を理解し、課題の改善を図る手法として、「教育相談的かわり」のできる教員を育成することを目的に、教職員研修センターの主催する「若手教員研修」のうち相談指導学級における体験研修を行った。(受講者21人、年間12回)

エ 電話相談

「やまびこ電話」の愛称で呼ばれる電話相談では、電話を通して訴えられる青少年に関する多種多様な課題や悩みについて、16人（令和7年3月31日現在）の相談員が共に悩み考えながら解決へ向け支援した。

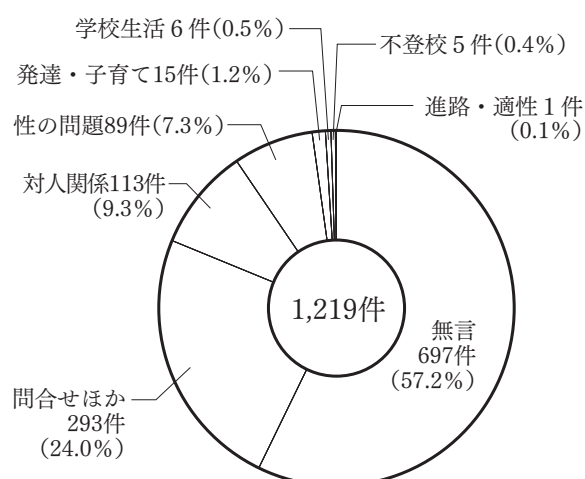
相談内容・対象者別内訳

(単位 件)

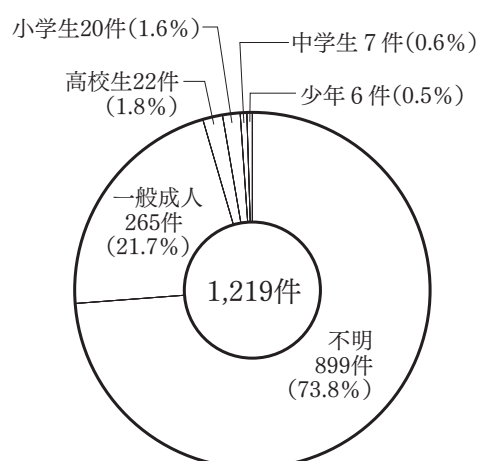
対象者 内容	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	不明	計
非行								0
不登校		2	3					5
発達・子育て		4	2		2	6	1	15
性の問題		11		11	4	19	44	89
進路・適性						1		1
対人関係				4		95	14	113
学校生活			1	3		2		6
問合せほか		3	1	4		142	143	293
無言	—	—	—	—	—	—	697	697
計	0	20	7	22	6	265	899	1,219

※少年は20歳未満の大学（短大）生・専門学校生・有職少年・無職少年

内容別相談件数



対象者別相談件数



6 芸術・文化振興

市民による自主的な芸術・文化活動を支援し、その成果を発表する場として、市民の参画により「第51回沼津市芸術祭」を開催した。

部 門 名	開 催 日 ・ 会 場	内 容
書 道 展	10.2～10.6 プラサヴェルデ	出品総数 88点 書道の作品展示
合 唱 祭	10.6 市民文化センター	参加団体 23団体（408人） 児童、女声、男声、混声による合唱の発表
芸術祭茶会	10.6 御用邸記念公園東附属邸	参加団体 2流派（55人） 表千家、黄檗弘風流による茶席
ぬまづ文芸	10.10 入選者発表	出品総数 284点 随筆、詩、短歌、俳句、川柳の作品募集と作品集「ぬまづ文芸」の発行
写 真 展	10.11～10.15 市民文化センター	出品総数 64点 写真の作品展示
秋の舞踏会	10.13 市民文化センター	参加団体 5団体（119人） 各洋舞団体のフラメンコ、バレエ、ジャズダンスの発表
美 術 展	10.16～10.20 プラサヴェルデ	出品総数 102点 洋画、日本画、水彩画、版画の作品展示
演 劇 祭	10.19 市民文化センター	参加人数 10人 「遠野物語」朗読劇の上演
バレエ パフォーマンス	10.20 市民文化センター	参加団体 5団体（120人） 各バレエ団体による作品と合同作品の発表
沼津寄席	10.20 市立図書館	参加人数 9人 講談、マジックの披露
邦 楽 祭	10.27 市民文化センター	参加団体 11団体（103人） 箏、三味線、謡、尺八の披露
郷土ふれあい 太 鼓	10.27 市民文化センター	参加団体 4団体（59人） 「郷土ふれあい太鼓」と題した太鼓の演奏
現代いけばな展	11.1～11.3 市民文化センター	出品総数 29点 自由な発想による超流派のいけばな展示
クライネムジーク コンサート	11.2 市民文化センター	参加人数 11人 プロ・セミプロによるクラシック音楽の演奏
音楽の広場	11.3 市民文化センター	参加団体 10団体（315人） 高校生を中心とした吹奏楽の演奏
日本舞踊祭	11.4 市民文化センター	参加人数 27人 古典日本舞踊の披露
新舞踊祭	11.10 市民文化センター	参加団体 10団体（70人） 各団体による新舞踊の披露
吟 詠 祭	11.10 市民文化センター	参加人数 20人 歌謡吟、独吟の上演

- 5月に第42回ぬまづ茶会を沼津御用邸記念公園で開催し、茶道文化の普及を図った。
- 山口源新人賞受賞者等を講師に迎え、版画ワークショップを開催した。
- まちかど活用文化事業
市民文化センター前の「もりの広場」で身体表現のアーティストと音楽家による即興パフォーマンスを披露した。

7 文 化 財

郷土の文化遺産の保護・継承のため、文化財の調査・整理及び保存に努めるとともに、特に重要性が高い文化財に対しては、文化財保護審議会を2回開催し、文化財の保存及び活用に関する事項について調査・審議を行った。また、地域に根ざす文化財をまちづくりに活かし、地域総がかりでその継承に取り組むための総合的な計画として、11月に沼津市文化財保存活用地域計画を策定し、12月に文化庁長官の認定を受けた。

埋蔵文化財発掘調査関係の主な業務は、中原遺跡埋蔵文化財発掘調査受託事業ほか7事業であった。

史跡等保全整備事業として、10月11日に高尾山古墳が国史跡に指定され、記念イベントとしてシンポジウム、連続講座、記念展示を開催するとともに、都市計画道路沼津南一色線の橋梁工事に先立ち古墳保護工事（後方部）を実施した。また、興国寺城跡の伝天守台西部・中央部の石垣発掘調査により整備に必要なデータを収集した。さらに、大瀬崎のビャクシン樹林の適切な保護を図るため、指定地内の管理用道路の整備を完了したほか、サイン実施設計を行った。

そのほか、文化財の価値や魅力を広く伝えるため、地域団体との共催イベントや小中学校等への出前講座、講師派遣等を25回実施するとともに、文化財まちあるきマップの作成、小中学校へのデジタルコンテンツの提供など、文化財の活用推進を図った。

8 社会教育施設

(1) 若山牧水記念館

公益社団法人沼津牧水会を指定管理者として、歌人若山牧水の業績の顕彰と沼津の文学風土を紹介することを目的に、文学資料の保存や調査・研究を行うとともに、講座・講演等を開催し、広く市民の教養・文化の向上に努めた。

ア 事 業

(ア) 講座・講演等

- 「初心者のための短歌講座」115人、「牧水記念館短歌会」67人

4月～令和7年2月 参加者 合計182人 講師 永久保 英敏

(公益社団法人沼津牧水会理事)

○ 「中学生短歌コンクール」

募集期間 5月1日～7月31日

応募短歌 19校 1,784首 特選10首 入選短歌39首

○ 「短歌大会」

10月6日 講師 内藤 明(「音」発行人、第20回若山牧水賞受賞者)

応募短歌 105首 参加者60人

○ 「第37回 雛の歌会」

令和7年3月2日 講師 沖 ななも(「熾」代表)

応募短歌 86首 参加者57人

(イ) 調査・研究

牧水顕彰のための調査・研究を行い、関係資料の収集に努めるとともに、館報の作成に活用した。

(ウ) 若山牧水記念館館報の刊行

「沼津市若山牧水記念館」館報(年2回)を刊行し、市民への啓発を行った。

第73号(9月1日)

第74号(令和7年3月5日)

イ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	194 ^人	25 ^日	10	253 ^人	27 ^日
5	352	27	11	259	26
6	193	26	12	219	24
7	273	26	7.1	185	24
8	239	27	7.2	278	24
9	277	25	7.3	417	26

入館者数 3,139人

開館日数 307日

1日平均
入館者数 10.2人

(2) 歴史民俗資料館

郷土の歴史・民俗資料の収集、保管、調査・研究を行い、企画展や講座を開催し、市民文化の向上と発展に努めた。また、施設の老朽化等に伴う移転整備に向けた取り組みを進めた。

ア 歴史民俗資料館協議会

館の円滑な運営を図るため、委員7人による協議会を3回開催し、館の運営計画や展示計画、PR方法などについて協議した。

イ 事業

- (ア) 調査・研究活動として、民俗、古文書等の収蔵資料の整理を実施した。
- (イ) 普及活動として、「資料館だより」(年4回)、「沼津市歴史民俗資料館資料集35」「沼津市博物館紀要49」(明治史料館と共同)を刊行した。
- (ウ) 夏休み期間中に体験学習「昔の道具を使ってみよう」を開催した。(参加者27人)
- (エ) 10月19日に歴史講座「大御所家康と駿東」(参加者137人)、令和7年1月18日に「武田氏の河東支配と興国寺城代曾根昌世」(参加者169人)を開催した。
- (オ) 歴史民俗資料館の移転に向け、学識経験者で構成する移転整備基本計画策定委員会を4回開催し、「沼津市歴史民俗資料館移転整備基本計画」を策定した。

ウ 展示

(ア) 常設展

1階展示室に「内浦湾の漁法と漁具」、2階展示室に「生活用具とものづくり」、「沼津の漁業」を展示した。

(イ) 企画展

開館50周年記念特別展「れきみんなのおたから 指定文化財から秘蔵資料まで大公開！」を開催した。

(11月30日～令和7年3月30日)

エ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	1,739 ^人	24 ^日	10	1,436 ^人	20 ^日
5	2,245	26	11	2,339	25
6	2,440	25	12	1,549	23
7	1,868	25	7.1	1,945	23
8	1,724	26	7.2	2,108	22
9	1,202	24	7.3	1,982	24

入館者数 22,577人
 開館日数 287日
 1日平均入館者数 78.7人

(3) 明治史料館

江原素六及び沼津兵学校の資料を中心に常設展示を行い、地域の歴史資料の調査・収集・保存をした。また、企画展、講座開設、資料の整理・出版活動を通じ、文化の向上と発展に努めた。

ア 明治史料館協議会

館の円滑な運営を図るため、委員10人による協議会を3回開催し、運営及び事業計画などについて協議した。

イ 展 示

(ア) 常 設 展

3階北側は「江原素六」、南側は「沼津の歴史」、4階は「沼津兵学校」を展示した。

(イ) 企 画 展

○ 富士・沼津・三島3市博物館巡回展

「石器とくらし—愛鷹・箱根西麓の旧石器文化とその周辺—」（6月29日～9月1日）

○ 館外展示 第21回明治史料館 館蔵資料展

「殿さまたちのときめくキャンパス～歴代沼津藩主の書画～」(9月5日～26日)

○ 「地域の歴史シリーズ5 大岡」(12月7日～令和7年2月24日)

ウ 教育普及事業

(ア) そろくの日

5月19日、江原素六の功績に対し感謝と理解を深めるため、房楊枝づくり体験、和綴じノートづくり体験、そろくんクイズなどのイベントを開催した。

(イ) 子ども向け歴史学習企画

「謎解き！ 沼津歴史探偵」

夏休み期間中（7月24日～8月28日）、本市の歴史について理解を深めるために展示を題材とした謎解きゲームを実施した。

(ウ) 学芸員体験講座

8月1日、「学芸員」という仕事を体験することによって、中学生・高校生が歴史や博物館などに対する興味を持つとともに、進路を決める際の参考になるよう開催した。

(エ) 平和を考える戦争史跡めぐり

7月28日、小学生とその保護者を対象に、地域の歴史学習の場を提供した。

(オ) 博物館実習生の受入れ

8月20日～9月4日、学芸員資格取得のための博物館実習生として大学生3人を受け

入れた。

(カ) 古文書解読入門講座

10・11月土曜日（計5回）開催。古文書を初めて読む市民を対象に、くずし字などの解読力を養う講座を開催した。

(キ) 中学生職業体験

11月1日、労働の実態を学んだり働く人と接したりすることを目的とした職業体験として市内の中学生3人を受け入れた。

(ク) ギャラリートーク

毎月第2土曜日、年間で11回開催し、職員が参加者と対話しながら展示の解説をした。

(ケ) 学校・団体見学受入

通年、学生を授業の一環として受け入れた。

小学校5校 355人、中学校1校 314人

(コ) 講師派遣

通年、「江原素六と沼津兵学校」「沼津の歴史、西洋医学と沼津病院等について」など明治史料館の調査と研究の成果に基づいたテーマで、講師として職員を8回派遣した。

(サ) 出版活動

館報である「明治史料館通信」（通巻157～160号・年4回）を刊行し、博物館活動への理解向上を図り、また、歴史民俗資料館と共同で「沼津市博物館紀要」49号を刊行した。

エ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数	入館者数 開館日数 1日平均 入館者数	4,314人 251日 17.2人
4	221 ^人	24 ^日	10	902 ^人	26 ^日		
5	190	26	11	194	21		
6	252	10	12	242	19		
7	355	25	7.1	361	23		
8	615	27	7.2	454	20		
9	375	12	7.3	153	18		

(4) 戸田造船郷土資料博物館

幕末に日本に來航して駿河湾で沈没したロシアの軍艦ディアナ号、その代船として建造されたヘダ号関係の資料、戸田の漁業や廻船業などの郷土資料を展示・収集した。

ア 戸田造船郷土資料博物館協議会

館の運営の円滑化を図るために、委員6人からなる協議会を2回開催し、館の展示計画や広報活動、資料収集活動のあり方について協議した。

イ 事業

移転整備の基本方針となる「沼津市戸田造船郷土資料博物館移転整備基本構想」を策定した。また、移転整備計画策定委員会を3回開催し、基本構想に基づく「沼津市戸田造船郷土資料博物館・駿河湾深海生物館移転整備基本計画（案）」を取りまとめた。

ウ 展示

ヘダ号の建造資料及びディアナ号・プチャーチン関連の遺品等の常設展示

大名びな展（4月1日～6月4日）

戸田から見た富士山写真展（令和7年2月1日～2月28日）

エ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数	入館者数 開館日数 1日平均 入館者数	8,100人 306日 26.5人
4	681 ^人	26 ^日	10	484 ^人	25 ^日		
5	778	26	11	613	25		
6	448	26	12	629	24		
7	670	25	7.1	707	25		
8	817	29	7.2	825	23		
9	530	25	7.3	918	27		

(5) 庄司美術館（モン ミュゼ沼津）

NPO法人レザミ・デ・ザールを指定管理者として、所蔵する山口源や前田千寸の作品による常設展や企画展を行い、市民に美術鑑賞の場を提供した。

ア 庄司美術館運営委員会

美術館の適正な運営を図るため、委員7人による運営委員会を2回開催し、運営及び展示計画などについて協議した。

イ 展 示

期 日	1 階 展 示 室	2 階 展 示 室
3 .16～ 4 .20	結城泰介作品展	所蔵作品展 (山口源・前田千寸)
4 .27～ 5 .26	山口育三作品展	
6 .22～ 7 .21	遠藤和子作品展	
7 .27～ 9 . 1	水越亘將作品展	
9 . 7 ～10. 5	杉本亜希子作品展	
10.12～12.21	草井裕子・上田風子・上地路剛作品展	
7 . 1 . 4 ～ 2 .15	秋ゆかり作品展	ぬまづスクールミュージアム2024 アーカイブ展
7 . 2 .22～ 3 .27	山口源賞受賞作品展	所蔵作品展 (山口源・前田千寸)

ウ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数		
4	169 ^人	20 ^日	10	332 ^人	22 ^日	入 館 者 数	3,757人
5	316	23	11	208	26		
6	189	8	12	220	18		
7	621	22	7.1	194	24		
8	827	27	7.2	164	18		
9	429	21	7.3	88	22		
						開 館 日 数	251日
						1 日 平 均 入 館 者 数	15.0人

(6) 芹沢光治良記念館

本市生まれの作家芹沢光治良の関係資料を整理・収集・保存し、企画展示を行うとともに、2階展示室を市民ギャラリーとして沼津の文化に関する企画展示を一般公募するなど、市民文化の向上と発展に努めた。

ア 芹沢光治良記念館懇話会

館の円滑な運営を図るため、委員5人による懇話会を2回開催し、運営方法及び事業計画などについて参考意見を聴取した。

イ 事 業

(ア) 資料整理・保存

芹沢光治良関連資料のデータベース化と適正保存を進めるために、資料目録の点検、補填など、資料の整理及び保存の処理を行った。

(イ) 各種広報活動

当館を周知するためのポスター及びチラシ等を作成し、市内小中学校等の教育機関、各自治会及び主要な公共施設に配布した。また各イベント会場へ出向き、同様に配布した。

(ウ) 教育普及

企画展展示説明会や出前講座等を実施した。

事 業 名	内 容	期 日	備 考
出 前 講 座	(特別講座) 企画展 『人間の運命』の舞台を旅する (第1回) について	9.15	東部法律会館 参加者10人
	(特別講座) 企画展 『人間の運命』の舞台を旅する (第2回) について	7.3.8	1階展示室 参加者6人
文 学 散 歩	芹沢光治良ゆかりの文学バスツアー	10.19	沼津市内 参加者18人
展 示 説 明 会	企画展 沼津ゆかりの文学者たち (第2回)	5.4	参加者10人
	企画展 『人間の運命』の舞台を旅する (第1回)	8.21	参加者5人
	企画展 『人間の運命』の舞台を旅する (第2回)	7.2.23	参加者14人
出 張 展 示	ミニ出張展示 『人間の運命』の舞台を旅する	12.11~22	ららぽーと沼津
講 演 会	第12回芹沢光治良文学講演会	11.16	市立図書館 講師 北村暁子氏 参加者140人
そ の 他	トークイベント 香貫小学校校歌と芹沢光治良	11.24	2階展示室 展示「校歌という郷土文学」 連動 参加者14人

ウ 展 示

企 画 展

- 沼津ゆかりの文学者たち（第2回）（4月1日～5月31日）
- 『人間の運命』の舞台を旅する（第1回）（6月15日～12月1日）
- 『人間の運命』の舞台を旅する（第2回）（12月21日～令和7年3月31日）

エ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数		
4	226 ^人	25 ^日	10	431 ^人	27 ^日		
5	304	25	11	244	26	入 館 者 数	3,540人
6	155	14	12	103	9	開 館 日 数	277日
7	383	26	7.1	233	24	1 日 平 均	
8	380	27	7.2	359	23	入 館 者 数	12.8人
9	348	25	7.3	374	26		

(7) 重要文化財松城家住宅

戸田観光協会を指定管理者とし、松城家住宅の歴史的、文化的価値等を紹介し、広く市民の教養及び文化の向上に努めた。

ア 事 業

指定管理者の自主事業として、以下の事業を行った。

文化財資料館観覧ツアー（5月19日）

高足カニ面展示会 高足カニ面絵付け体験（6月1日～6月30日）

静岡県民の日企画展（8月21日）

松城家住宅所蔵のゆかりの品々展示会（9月1日～9月30日）

長八こて絵巡りスタンプラリー（9月28日～令和7年2月28日）

高足カニ面絵付け体験（10月1日～12月31日）

文化財防火デー（令和7年1月24日）

富士山の日企画展（令和7年2月23日）

松城家住宅校内学習会（食育講座・公演）（令和7年3月12日）

桜ライトアップ&高足カニ面絵付け体験（令和7年3月22日～4月6日）

イ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数		
4	219 ^人	26 ^日	10	177 ^人	26 ^日		
5	211	27	11	260	26	入 館 者 数	2,598人
6	172	26	12	262	27	開 館 日 数	315日
7	139	26	7.1	192	27	1 日 平 均	
8	241	27	7.2	342	24	入 館 者 数	8.2人
9	131	26	7.3	252	27		

9 社 会 体 育

生涯スポーツの振興のため、各種スポーツ大会等の開催のほか、小・中学校の体育施設の開放を推進するとともに、NPO法人沼津市スポーツ協会、沼津市スポーツ推進委員連絡協議会、同各地区体育委員会、同スポーツ少年団、県市町対抗駅伝競走大会沼津市実行委員会の活動助成に努めた。

(1) スポーツ大会等開催事業

名 称	実施時期	概 要
第65回沼津市 町別ソフトボール大会	4.7・14 ・21	30歳以上の男性及び高校生以下を除く女性が、ソフトボールを楽しむ中で、体力づくりと健康の増進を図り、試合を通して相互の親睦を深めた。(参加42チーム)
第58回沼津市 町別バレーボール大会	6.9・16	18歳以上の女性がバレーボールを楽しむ中で体力づくりと健康の増進を図り、試合を通して相互の親睦を深めた。(参加19チーム)
第69回 千本浜ファミリー マラソン大会	11.10	市民の健康増進と体力づくりを目的に、千本浜防潮堤を利用して、誰でも気軽に参加できるマラソン大会を実施した。(参加者307人)
第71回 沼津市駅伝競走大会	7.1.19	職場スポーツの普及と青少年の体力増強を図ることを目的に、愛鷹広域公園周回コースにおいて実施した。(参加46チーム)
第78回 沼津市スポーツ祭	通 年	各種スポーツの普及と底辺拡大を図るため、スポーツ協会の協力のもと本市最大のスポーツ大会を実施した。(陸上競技ほか全32種目)

(2) スポーツ指導者バンク事業

市民のスポーツ振興と健康増進を図るため、自主的にスポーツを通じた健康づくり活動に

取り組む団体等に対し、スポーツ指導者を派遣したほか、指導者の資質向上に取り組んだ。

○登録指導者数 59人

(3) トップアスリート教室開催事業

本市にゆかりのあるトップアスリートによるスポーツ教室を開催し、子ども達にトップレベルのプレーを間近で体感させることで、スポーツの楽しさを伝え、競技力の向上や才能の発掘を図った。

(4) 学校体育施設利用推進事業

地域スポーツの振興を図るため、小・中学校の体育施設を地域住民のスポーツの場として開放し、市民の健康の維持・増進と体力づくりを図った。

学校体育施設利用状況

		運動場（昼間）	運動場（夜間）	体育館（昼間）	体育館（夜間）
小学校	日 数	1,402 日	1,646	1,333	4,648
	人 数	47,629 人	44,413	34,959	94,670
中学校	日 数	201 日	818	51	3,810
	人 数	5,940 人	13,540	1,767	73,625
小中 連携 学校	日 数	日	—	103	495
	人 数	人	—	1,778	7,765
計	日 数	1,603 日	2,464	1,487	8,953
	人 数	53,569 人	57,953	38,504	176,060

(5) 屋外運動場夜間照明施設整備事業

地域スポーツの振興を図るため、小・中学校等に設置してある夜間照明施設の点検及び修繕を行った。

(6) スポーツ広場整備事業

地域住民の健康・体力づくりのため、遊休地等を借り上げた自治会に対し、グラウンド砂の補充を行った。

(7) 地域体力づくり教室等開催事業

身近な施設でたくさんの仲間とふれあいながら、健康・体力づくりができるように、また、運動をはじめるきっかけづくりとなるように各種の教室や講座を地区センターなどを会場に開催した。

ア 地域体力づくり教室

教 室 名		会 場	定員 (各期)	期・回数	参加 人員	対象・運動レベル
女 性 体 操 教 室	A コ ー ス	原 地 区 セ ン タ ー	45	3 期 延 べ 25 回	845	18歳以上 体力維持・向上を目的とした中級レベル
	B コ ー ス		45	3 期 延 べ 25 回	427	18歳以上 初心者にも手軽にできる初級レベル
ア ッ プ ・ U P 体 操 教 室	水曜日コース		80	3 期 延 べ 30 回	954	健康増進を目的とした初級～中級レベル
	木曜日コース		80	3 期 延 べ 30 回	964	運動不足解消とした初級レベル
ア ッ プ ・ U P 体 操 教 室		浮島地区センター	40	3 期 延 べ 28 回	452	運動不足解消とした初級レベル
ア ッ プ ・ U P 体 操 教 室		愛鷹地区センター	40	3 期 延 べ 30 回	748	運動不足解消とした初級レベル
か ら だ づ く り 教 室		今 沢 地 区 セ ン タ ー	30	3 期 延 べ 27 回	470	体力維持・向上を目的とした中級レベル
ア ッ プ ・ U P 体 操 教 室	水曜日コース		30	3 期 延 べ 29 回	512	運動不足解消とした初級レベル
	木曜日コース		30	3 期 延 べ 30 回	548	健康増進を目的とした初級～中級レベル
柔 ・ 酸 ・ 筋 教 室		片 浜 地 区 セ ン タ ー	30	3 期 延 べ 28 回	205	体力維持・向上を目的とした中級レベル
男 性 健 康 づ く り 教 室			40	3 期 延 べ 30 回	396	18歳以上 運動不足解消とした初級レベル
か ら だ づ く り 教 室		金 岡 地 区 セ ン タ ー	30	3 期 延 べ 28 回	539	体力維持・向上を目的とした中級レベル
柔 ・ 酸 ・ 筋 教 室			30	3 期 延 べ 30 回	377	体力維持・向上を目的とした中級レベル
脚 力 改 善 教 室			30	3 期 延 べ 30 回	753	健康増進を目的とした初級～中級レベル
ア ッ プ ・ U P 体 操 教 室			30	3 期 延 べ 27 回	868	運動不足解消とした初級レベル
か ら だ づ く り 教 室		門 池 地 区 セ ン タ ー	40	3 期 延 べ 30 回	601	体力維持・向上を目的とした中級レベル
ア ッ プ ・ U P 体 操 教 室	A コ ー ス		40	3 期 延 べ 30 回	375	運動不足解消とした初級レベル
	B コ ー ス		40	3 期 延 べ 30 回	519	健康増進を目的とした初級～中級レベル
ア ッ プ ・ U P 体 操 教 室		大 岡 地 区 セ ン タ ー	40	3 期 延 べ 29 回	876	運動不足解消とした初級レベル
か ら だ づ く り 教 室			30	3 期 延 べ 28 回	262	体力維持・向上を目的とした中級レベル
柔 ・ 酸 ・ 筋 教 室		第 五 地 区 セ ン タ ー	35	3 期 延 べ 28 回	520	体力維持・向上を目的とした中級レベル
か ら だ づ く り 教 室	A コ ー ス		40	3 期 延 べ 30 回	748	体力維持・向上を目的とした中級レベル
	B コ ー ス		40	3 期 延 べ 30 回	495	体力維持・向上を目的とした中級レベル
ア ッ プ ・ U P 体 操 教 室			40	3 期 延 べ 29 回	912	運動不足解消とした初級レベル
か ら だ と と の え 運 動 教 室			40	3 期 延 べ 29 回	728	運動不足解消とした初級レベル
た の し い ヨ ガ 教 室	A コ ー ス		35	3 期 延 べ 30 回	718	初心者にも手軽にできる初級レベル
	B コ ー ス		35	3 期 延 べ 30 回	756	初心者にも手軽にできる初級レベル

教 室 名			会 場	定員 (各期)	期・回数	参加 人員	対象・運動レベル
た の し い ヨ ガ 教 室			第一地区センター	25	2期延べ19回	290	初心者にも手軽にできる初級レベル
か ら だ づ く り 教 室				25	3期延べ30回	681	体力維持・向上を目的とした中級レベル
た の し い ヨ ガ 教 室	A コ ー ス	第二地区センター	30	3期延べ30回	683	初心者にも手軽にできる初級レベル	
	B コ ー ス		30	3期延べ30回	550	初心者にも手軽にできる初級レベル	
筋整&シェイプアップ教室				25	3期延べ30回	664	体力向上を目的とした中級～上級レベル
アップ・UP 体 操 教 室	水曜日コース	第三地区センター	45	3期延べ30回	901	運動不足解消とした初級レベル	
	木曜日コース		45	3期延べ30回	1,136	健康増進を目的とした初級～中級レベル	
ア ッ プ ・ U P 体 操 教 室			大平地区センター	30	3期延べ30回	496	運動不足解消とした初級レベル
男 性 健 康 づ く り 教 室				30	3期延べ30回	435	18歳以上 運動不足解消とした初級レベル
ア ッ プ ・ U P 体 操 教 室			静浦地区センター	40	3期延べ30回	461	運動不足解消とした初級レベル
か ら だ と と の え 運 動 教 室			内浦地区センター	40	3期延べ30回	888	運動不足解消とした初級レベル
ア ク ア ウ ォ ー キ ン グ 教 室			戸田B&G海洋センター	30	1期延べ8回	80	体力維持を目的とした初級～中級レベル
ア ッ プ ・ U P 体 操 教 室				50	3期延べ30回	212	運動不足解消とした初級レベル
土 曜 水 泳 教 室				30	1期延べ10回	184	年長～小学生
夏休み短期 水 泳 教 室	前 期 コース	Aクラス		30	1期延べ5回	53	年長～小学生
		Bクラス		30	1期延べ5回	80	
	後 期 コース	Aクラス		30	1期延べ5回	73	
		Bクラス		30	1期延べ5回	81	
計						24,516	

イ 短 期 講 座

講 座 名		会 場	定員	開 催 日	参加 人員	対象者
4 月	簡単エアロ&コンディショニング	門池地区センター	人	4.3	21 ^人	18歳以上
	体幹づくりと姿勢改善	片浜地区センター		4.5	24	
	体のケア&体幹トレーニング	大岡地区センター		4.6	23	
	美温活リンパストレッチ	金岡地区センター		4.9	24	
	健康表現体操	第二地区センター		4.13	10	
	ピラティス	原地区センター		4.16	29	
	健康増進太極拳	第五地区センター		4.18	24	
6 月	貯金運動	第三地区センター	各24	6.4	4	
	あなたの姿勢大丈夫？	金岡地区センター		6.6	26	
	チベット体操	第二地区センター		6.8	22	
	ビギナーズステップ	門池地区センター		6.12	14	
	アロマリラックスメイク	愛鷹地区センター		6.14	15	
	初めてのピラティスレッスン	大岡地区センター		6.14	25	
	ピラティス	第一地区センター		6.21	14	
	クロスポイント	静浦地区センター		6.26	8	
	脂肪燃焼ボディメイク	原地区センター		6.29	22	
7 ・ 8 月	美ボディメイク	第一地区センター	各24	7.17・24	43	
	太極舞	大岡地区センター		7.18・25	24	
	姿勢改善骨盤トレーニング	内浦地区センター		7.19・26	16	
	からだほぐしと簡単ボクシングエクササイズ	今沢地区センター		7.30・8.6	17	
	ナチュラル歩行	第三地区センター		7.31・8.7	17	
	ウォーキングエクササイズ	門池地区センター		8.1・8	16	
	代謝を上げるボールトレーニング	金岡地区センター		8.2・9	36	
10 月	代謝も上がり痩せ易くなるヨガ	片浜地区センター	各24	10.1	18	
	筋トレサーキット	金岡地区センター		10.3	15	
	なかなか教えてもらえない正しい姿勢	第五地区センター		10.9	21	
	メンテナンスストレッチ	金岡地区センター		10.11	22	
	ストレッチ用ボールで体のケア&体幹トレーニング	第四地区センター		10.16	20	
	首・肩のびりびり伸びるストレッチ&体幹エクササイズ	第二地区センター		10.17	21	
	計るだけダイエットのススメ！	門池地区センター		10.22	8	
	代謝アップ&脂肪燃焼エクササイズ	原地区センター		10.23	26	
	リバイバルエアロ	第五地区センター		10.29	20	
	楽しく簡単ダンスエクササイズ	第三地区センター		10.31	22	

講 座 名		会 場	定員	開 催 日	参加 人員	対象者
11 ・ 12 月	ボールウォーク&エクササイズ	第三地区センター	各24	11.20・27	12	18歳以上
	体の不調を整えるピラティス	浮島地区センター		11.20・27	20	
	身体の歪みを知り整えましょう	戸田B&G海洋センター		11.21・28	25	
	筋 力 向 上 エ ク サ サ イ ズ	門池地区センター		11.21・28	26	
	フ ロ ー ピ ラ テ ィ ス	第五地区センター		11.22・29	36	
	ボクシングエクササイズ	金岡地区センター		12.3・10	31	
	自 分 の 姿 勢 に 気 づ こ う	片浜地区センター		12.3・10	11	
	D I S C O W O R L D	大平地区センター		12.4・11	22	
	シンプルダンスエクササイズ	第二地区センター		12.5・12	26	
	姿勢改善コアトレーニング	原地区センター		12.6・13	34	
2 ・ 3 月	美温活リンパストレッチ	第三地区センター		7.2.4	30	
	はじめてのエアロビクス&ストレッチ	第五地区センター		7.2.8	20	
	肩こり解消！ヨガストレッチ	第一地区センター		7.2.14	16	
	姿 勢 改 善	第五地区センター		7.2.18	27	
	メ ン テ ナ ン ス ヨ ガ	金岡地区センター		7.2.20	22	
	ポ ー ル ピ ラ テ ィ ス	今沢地区センター		7.2.21	18	
	美 尻 ト レ ー ニ ン グ	門池地区センター		7.2.26	22	
	季節の経絡ストレッチ	第二地区センター		7.2.27	19	
	キ ッ ク ボ ク サ サ イ ズ	第二地区センター		7.2.27	18	
	体 調 整 え 講 座	内浦地区センター		7.3.4	5	
	柔軟性を高めるストレッチ・筋トレ	大岡地区センター		7.3.5	17	
	フ ロ ー ピ ラ テ ィ ス	金岡地区センター		7.3.6	22	
計					1,146	

(8) スポーツ施設マネジメント事業

スポーツ施設の適切な維持管理や長寿命化を図るため、戸田B & G海洋センターの受変電設備の更新工事、戸田テニスコートの改修工事、旧市民体育館の解体工事等を行った。

また、ストリートスポーツパークの試験運用を行った。

(9) 沼津市民屋内温水プール利用料金助成事業

屋内温水プールの廃止に伴い、プールを活用した市民のスポーツをする意識及び機会の維持を目的として、市が指定した屋内温水プールを利用した市民に対し、利用料金の一部を助成した。

第5節 自然体験施設

1 ゆめとびら舟山

自然体験施設として、青少年の健全育成を図るための集団宿泊生活や野外活動など年間利用者数は20団体延べ502人であった。

(1) ゆめとびら舟山運営審議会

沼津市校長会、沼津市スポーツ少年団、戸田観光協会などの7人により構成され、施設の利用促進、今後の活用の方策などについて審議した。

(2) 利用状況

ア 月 別

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	7.1	7.2	7.3	計
団体数	2	7			1	2	2	1	5				20 ^{団体}
実人員	23	34			38	38	80	48	22				283 ^人
延べ人数	42	34			114	60	134	96	22				502 ^人
開所日数	25	27	26	26	27	25	27	26	24	24	24	26	307 ^日
利用率	1.7	1.3	0.0	0.0	4.2	2.4	5.0	3.7	0.9	0.0	0.0	0.0	1.6 [%]

$$※利用率 = \frac{\text{延べ人数}}{\text{宿泊定員 (100人)} \times \text{開所日数}} \times 100$$

イ 団体別

団体 区分	幼・保	小学校	中学校	高等学校 各種学校等	スポーツ 少年団等	その他	計
団体数					3	17	20 ^{団体}
実人員					79	204	283 ^人
延べ人数					117	385	502 ^人

第6節 体 育 施 設

1 香陵アリーナ（総合体育館）

P F I方式により整備した香陵アリーナ等の買取と維持管理・運営業務を実施した。

利用状況

（単位 人）

施 設 名	個 人 利 用 者	団 体 利 用 者	計
ス ポ ー ツ ア リ ー ナ	238	97,222	97,460
多 目 的 ア リ ー ナ	90	29,834	29,924
武 道 場	630	33,758	34,388
弓 道 場	6,218	3,820	10,038
卓 球 場	17,710		17,710
ト レ ー ニ ン グ 室	104,278		104,278
多 目 的 ス タ ジ オ		14,157	14,157
多 目 的 室	479	4,645	5,124
ランニングコース	3,129		3,129
大 会 本 部 室		2,199	2,199
選 手 控 室 1		772	772
選 手 控 室 2		382	382
合 計	132,772	186,789	319,561

2 戸田B＆G海洋センター

戸田地区におけるスポーツ・レクリエーションの拠点として、また、地域に密着した親しまれる施設として利用に供した。

(1) 年度別利用状況

(単位 人)

年度 区分	プー ル		体 育 室	計
	個人利用者	団体利用者	団体利用者	
6	1,529	611	6,767	8,907
5	1,876	834	4,886	7,596

(2) 目的・種目別利用状況

区 分	目 的 ・ 種 目	利用回数	利用者数
個 人 利 用	プール	— 回	1,529 人
団 体 利 用	プール	27	611
	バレーボール	9	494
	バドミントン	50	788
	バスケットボール	111	2,161
	卓 球	61	829
	柔 道	88	1,268
	そ の 他 (ダンス・カローリング等)	52	1,227
	小 計	398	7,378
合 計			8,907

3 屋外施設の年度別利用状況

区分 年度	市営野球場		大岡公園内運動場		西部市民運動場		中瀬市民運動場	
6	259 ^回	9,320 ^人	580 ^回	20,763 ^人	428 ^回	7,247 ^人	274 ^回	6,072 ^人
5	260	10,419	594	21,814	455	7,555	335	4,822

区分 年度	愛鷹運動公園テニスコート (12面)	大岡公園テニスコート (4面)	戸田テニスコート (2面)
6	63,385 ^人	32,188 ^人	166 ^人
5	61,075	29,124	163

第7節 図 書 館

1 市立図書館協議会

図書館の円滑な運営を図るため、委員9人による協議会を2回開催し、運営や図書館サービスなどについて協議した。

2 資 料 整 備

利用者が求める様々な情報に対応するため、一般書、児童書、参考調査図書、電子書籍及び視聴覚資料等を整備した。

(1) 図 書 資 料

区 分		購 入 数	金 額	蔵 書 数
本 館	一般	6,389 ^冊	18,504,738 ^円	376,079 ^冊
	児童	2,089	3,899,573	61,131
戸 田	一般	320	650,215	25,178
	児童	180	369,545	12,131
自 動 車 文 庫	一般	215	348,447	3,718
	児童	124	185,251	1,481
地 区 セ ン タ ー	一般	905	1,681,263	31,211
	児童	438	702,653	38,330
計	一般	7,829	21,184,663	436,186
	児童	2,831	5,157,022	113,073

(2) 電子書籍資料

区 分		購 入 数	金 額	蔵 書 数
ぬ ま つ 電 子 図 書 館	一般	194 ^点	996,396 ^円	13,647 ^点
	児童	164	642,604	968
計		358	1,639,000	14,615

(3) 視聴覚資料

区 分	購 入 数	金 額	所 蔵 数
本 館	227 ^点	1,617,573 ^円	42,207 ^点
戸 田	13	171,270	1,237
計	240	1,788,843	43,444

3 館内・館外業務

本館及び戸田図書館では、一般書、児童書、視聴覚資料、郷土資料、新聞、雑誌等の閲覧・貸出しや、予約・リクエストサービス、レファレンスサービス、コピーサービスなどを行うとともに、本館でのWi-Fiサービスを提供した。また、市街地周辺部の利用者に対して自動車文庫や地区センターの図書室において貸出しを行った。

(1) 入 館 者 数

区 分	年 度	開館日数	入 館 者 数		
			年 間	1 月平均	1 日平均
本 館	6	298 ^日	247,805 ^人	20,650 ^人	832 ^人
	5	296	237,997	19,833	804
戸 田	6	283	6,546	546	23
	5	285	5,495	458	19

(2) 貸出利用者数、貸出数

(視聴覚資料は館内ブース利用も含む)

区 分	年 度	利用者数	貸 出 数		
			図書資料	視聴覚資料	計
本 館	6	219,530 ^人	590,856 ^冊	62,563 ^点	653,419 ^{冊・点}
	5	218,957	601,132	67,521	668,653
戸 田	6	2,359	5,199	396	5,595
	5	2,273	5,316	383	5,699
自 動 車 文 庫	6	3,127	13,870	—	13,870
	5	3,126	13,177	—	13,177
地 区 セ ン タ ー	6	17,175	48,396	—	48,396
	5	16,034	46,266	—	46,266
計	6	242,191	658,321	62,959	721,280
	5	240,390	665,891	67,904	733,795

(3) ぬまづ電子図書館

年 度	開館日数	貸 出 数	
		年 間	1 日平均
6	365 ^日	20,303 ^点	56 ^点
5	365	21,805	60

※令和3年1月29日に開館

(4) 自動車文庫

市内45か所のステーション及び小学校2校を巡回して、市街地周辺部の利用者及び小学生への図書貸出しを行った。

年 度	出動日数	貸 出 数		
		年 間	1 月平均	1 日平均
6	186 ^日	13,870 ^冊	1,156 ^冊	75 ^冊
5	179	13,177	1,098	74

(5) 郵送・宅配・団体貸出

図書館に来館することが困難な利用者（身体障がい者等）で登録された157人を対象に郵送や宅配貸出しを行った。また、沼津聴覚特別支援学校等に図書の団体貸出しを行った。

年 度	郵 送		宅 配		団 体	
	利用件数	貸 出 数	利用件数	貸 出 数	利用者数	貸 出 数
6	21 ^件	50 ^冊	112 ^件	616 ^冊	28 ^{団体}	13,266 ^冊
5	10	29	104	532	29	14,410

(6) レファレンスサービス

利用者の求める資料の検索や情報の収集を支援する、レファレンスサービスを行った。

(単位 件)

年 度	窓 口	電 話	文 書	電子メール	計
6	6,551	142	1	4	6,698
5	6,592	157		9	6,758

(7) 相 互 貸 借

各図書館の間で相互に図書資料の貸借を行い、利用者の要求に応じている。資料の貸借は、県立中央図書館の協力車に依頼、郵送、宅配便の方法から選択して行った。

ア 貸 出

年 度	県内図書館		県外図書館		計	
	件 数	貸出数	件 数	貸出数	件 数	貸出数
6	625 ^件	925 ^冊	11 ^件	11 ^冊	636 ^件	936 ^冊
5	599	940	19	26	618	966

イ 借 受

年 度	県内図書館		県外図書館		計	
	件 数	借受数	件 数	借受数	件 数	借受数
6	1,097 ^件	1,731 ^冊	44 ^件	64 ^冊	1,141 ^件	1,795 ^冊
5	978	1,659	51	95	1,029	1,754

(8) 静岡県東部地域図書館間の相互利用

県東部地域の公共図書館相互利用協定により、各市町の利用者は、直接、協定先の図書館から図書資料の貸出しを受けることができる。

協定先は、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、富士市、御殿場市、下田市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、南伊豆町、松崎町、函南町、清水町、長泉町及び小山町の10市6町で、令和7年3月31日現在の登録者数は、21,371人である。

4 自主事業

(1) 図書館講座等

図書館活動の一環として、読書活動の推進及び図書館の利用促進のため、図書館資料と関連を持たせた講座等を開催した。

ア 文芸講座

テーマ 『源氏物語』の入口へようこそ

回	月 日	内 容	講 師
1	6.7	『源氏物語』のはじまりと「桐壺」巻	静岡英和学院大学 教授 畑 恵里子
2	6.14	『源氏物語』「若紫」巻と『伊勢物語』初段の重層性	
3	6.21	『紫式部日記』における清少納言へのまなざし	

参加者 1日 平均128人 会場 視聴覚ホール 開催時間 18:30～20:00

イ 子どもの本を知る講座

月 日	内 容	講 師
7.7	「昔話って、おもしろい！」	静岡県子ども読書アドバイザー たかぎ あつこ

参加者 47人 会場 第1・2講座室 開催時間 13:30～15:00

ウ 夏休み子ども講座

月 日	内 容	講 師
8.2	「新しいお札の紹介」	独立行政法人国立印刷局職員

参加者 33人 会場 第1・2講座室 開催時間 13:30～14:30

エ 読書週間講演会

月 日	内 容	講 師
10.27	「生きるということ、死ぬということ」 ～介護と小説を通じて～	小説家 いぬじゅん

参加者 96人 会場 視聴覚ホール 開催時間 13：30～15：00

オ 大人の講座

月 日	内 容	講 師
12. 1	「はじめて学ぶ遺言」	東京都行政書士会会員 静岡県行政書士会会員

参加者 57人 会場 第1・2講座室 開催時間 13：30～15：30

カ 読み聞かせ講座

月 日	内 容	講 師
7.2.15	「読み聞かせボランティア入門講座」	公益財団法人東京子ども図書館司書 護得久 えみ子

参加者 34人 会場 第1・2講座室 開催時間 13：30～15：00

(2) 展 示 事 業

期 間	名 称	内 容
4.11～6.4	「図書館ギャラリー」	図書館内各所に展示している写真や絵画などの美術作品を、鑑賞しやすいようにまとめて展示
6.6～6.30	文芸講座企画展 「絵で楽しむ源氏物語」 ～源氏絵の世界～	文芸講座の開催に合わせて、テーマである源氏物語の絵巻を、各場面ごと説明を交えて展示
7.4～8.3	夏の企画展 「絵本でつくるわくわく動物園」	動物園をテーマに、動物が主役の絵本を紹介する展示のほか、開催期間中、展示した絵本の読み聞かせおはなし会を実施
10.18～11.20	読書週間企画展 「青春」 ～The springtime of life～	講演会講師であるいぬじゅん氏に関連する作品を展示したほか、講師の作品に多く使われる「青春」をテーマにした様々な作家の小説を展示
7.2.19～ 3.18	「すげーら！ おれっちの富士山」写真展	2月23日の「富士山の日」に因み、富士山の四季折々を捉えた写真を展示

(3) その他事業

ア 「子ども読書活動推進」関連事業

(ア) 講座 「紙芝居を楽しもう！～見て、作って、演じてみよう～」

開催日 4月27日

講師 街頭紙芝居芸人 三ツ沢グッチ

参加者 41人

(イ) 夏休みわくわく図書館

ぬまづ子どもの本を学ぶ会との共催で、人形劇や読み聞かせ、身近な材料を使った工作など、本に関連したさまざまな催しを開催した。

開催日 8月1日 参加者 194人

イ 夏休み図書館子ども探検隊

小学生を対象に、図書館の仕事を体験することによって、図書館のしくみや本の調べ方を学び、将来の利用者を育てることを目的として開催した。

開催日 本館 7月24・25・26・30・31日、8月1・2日

戸田図書館 7月27・31日、8月3日

参加者 本館 40人 戸田図書館 7人

ウ 上映会

視聴覚資料の有効利用を図る観点から、夏休み及び春休みに上映会を開催した。

本館 上映回数 5回 参加者 延べ373人

戸田図書館 上映回数 1回 参加者 13人

エ ふれあいフェスティバル

ボランティアの協力を得て、幼児・小学生を対象とした絵本の読み聞かせや工作遊びなどのさまざまな催しを開催した。

開催日 10月5日 参加者 413人

オ ビブリオバトル

(ア) ビブリオバトル小中学生大会 in 沼津2024

学校と連携し、小中学生を対象としたビブリオバトルを開催した。

開催日 12月8日

参加者 動画による予選 小学生の部 27人 中学生の部 30人

発表者 小学生の部 8人 中学生の部 6人

観戦者 小学生の部 99人 中学生の部 52人

(イ) 大人のビブリオバトル

高校生以上を対象としたビブリオバトルを開催した。

開催日 令和7年3月7日

参加者 発表者 3人、観戦者 22人

5 図書館情報ネットワーク事業

本館と戸田図書館及び市内16か所の地区センターをコンピュータ回線でネットワーク化することで、図書館の分館的な機能を整備している。また、パソコンや携帯電話から図書館資料の検索や予約が可能な図書館ホームページ、SNSによる情報提供を行うことで、利用者の利便向上と図書館資料の利用促進を図った。

ホームページアクセス件数 350,402件

オンライン予約件数 49,391件

ぬまづ電子図書館予約件数 3,893件

6 図書館施設整備事業

図書館の適切な維持管理や長寿命化を図るため、非常用発電設備の更新工事や消火設備の薬剤更新等を行った。

第8節 市民文化センター

1 市民文化センター

公益財団法人沼津市振興公社を指定管理者として、文化芸術の鑑賞・交流の場として利用者の立場に立った利用しやすい施設となるように努めた。

(1) 市民文化センター運営審議会

市民文化センターの円滑な運営を図るため、委員7人による審議会を2回開催し、施設の利用促進などについて審議した。

(2) 利用状況

区 分	可 能		使 用					利用人数
	日 数	回 数	日 数	率	件 数	回 数	率	
大 ホ ー ル	319 ^日	957 ^回	166 ^日	52.0 [%]	175 ^件	423 ^回	44.2 [%]	85,261 ^人
小 ホ ー ル	314	942	214	68.2	246	496	52.7	41,901
ホ ー ル 計	633	1,899	380	60.0	421	919	48.4	127,162
大 会 議 室	337	1,011	175	51.9	193	320	31.7	7,679
第 1 練 習 室	339	1,017	106	31.3	110	158	15.5	3,671
第 2 練 習 室	339	1,017	97	28.6	104	174	17.1	3,509
第 3 練 習 室	337	1,011	123	36.5	140	200	19.8	3,706
第 1 会 議 室	339	1,017	75	22.1	75	145	14.3	1,314
第 2 会 議 室	339	1,017	39	11.5	40	62	6.1	461
第 3 会 議 室	339	1,017	112	33.0	123	188	18.5	2,095
第 4 会 議 室	339	1,017	125	36.9	131	192	18.9	1,718
第 5 会 議 室	339	1,017	179	52.8	196	259	25.5	2,806
第 6 会 議 室	339	1,017	139	41.0	150	201	19.8	956
第 7 会 議 室	339	1,017	17	5.0	17	35	3.4	178
特 別 会 議 室	339	1,017	30	8.8	30	59	5.8	95
会 議 室 計	4,064	12,192	1,217	29.9	1,309	1,993	16.3	28,188
1 リハーサル室	337	1,011	246	73.0	309	428	42.3	4,964
2 リハーサル室	339	1,017	190	56.0	230	341	33.5	3,061
リハーサル室計	676	2,028	436	64.5	539	769	37.9	8,025
展 示 室	339	339	60	17.7	60	60	17.7	4,494
計	5,712	16,458	2,093	36.6	2,329	3,741	22.7	167,869